

■教育費はいくらかかっている？

みなさんは生まれてから幼稚園（保育園）、小学校、中学校、そして高校へと進学しました。そして、今後の進路は就職や進学と大きく二つに分かれますが、実際皆さんのが高校を卒業するまで、どれくらいの費用がかかったか知っているでしょうか？

文部科学省が統計をとっている調査によると、下表のとおりです。

1年間にかかる 教育費（目安）	高等学校		中学校		小学校		幼稚園	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
学習費総額	51.3万円	105.4万円	53.9万円	143.6万円	35.3万円	166.7万円	16.5万円	30.9万円

この費用は1年にかかる費用です。そこで、幼稚園（3年間）から高校までの15年間でいったいいくらかかっているでしょう？

【総額】全て公立…576.9万円 全て私立…1839.9万円

という金額です。あくまで、上記は教育費です。部活や塾などの習い事の費用も含んでいます。さらに、皆さんの食費を1日500円とします。500円×365日×18年=328.5万円

そうです。公立に通う皆さんをここまで育て上げるのに、約900万円のお金がかかっています。また、上の金額にはスマホ代・お小遣いなど含まれていません。それも含めるとどうなるでしょう？

びっくりしませんか？

みなさんの保護者は、それだけの費用を捻出するために、日々頑張って仕事をし、みなさんのお世話をしているのです。11/23（日）は勤労感謝の日です。改めて、自分たちのために頑張っている保護者に、感謝をする日にしてくださいね。

■進路状況並びに来年に向けて

10月末現在の進路状況をお知らせします。このMilestoneが出る11月には、合格者はもう少し増えていると思います。

今年度の就職試験の結果を考察すると、1・2年生は、次のことを念頭に置いて学校生活を過ごしましょう。

進路先		希望者	内定合格者
就職 205名 (67.7%)	学校紹介	県内	45
		県外	145
	公務員	12	
	自営・縁故	3	3
進学 97名 (32.0%)	大学	57	
	短大・高専	4	1
	職能大等	3	2
	専門学校	33	25
未定		1	
合計		303	213

- ・可能な限り学校を休まない。会社によっては欠席日数が多い場合、書類選考の段階で不利になることもあります。
- ・「3年間継続して頑張ったこと」を面接で言えるようにしましょう。ここでのポイントは「継続して」ということです。
- ・「協調性を持って取り組んだこと」も大切です。そこで何を学んだか、自分(及び仲間)はどう成長したか、それをどう活かせるか？も問われます。

受験報告より

部活動に入部して継続して頑張っていれば、他の部員との関わりもあるので、答えやすいですね。一方、部活動に入部していない人は、それらの答えとなる活動を考えなければなりません。

なお、受験した企業の中で、受験倍率が3倍という企業もありました。SPI試験で基準点に満たないと

不合格になるというケースもありました。そもそも、企業が求める人材像との間にミスマッチもありました。成績がある日突然良くなることも、性格が急に変わることもありません。

小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道
野球殿堂入りした、イチロー選手の言葉です。1年後、2年後を見据えて今からしっかりと準備をしていきましょう。

■進学の様々な受験形態も調べよう

大学進学を目指す中で、受験方法の一つとして「推薦入試」があります。この推薦入試は本校と大学の信頼関係を元にいただいている推薦となります。指定校推薦・学校推薦があります。これに次いで多いのが「総合選抜型」です。これは受験する大学によって、受験方法は様々ですが、高校時代に学んだこと、培った技術などを活かし受験することができます。

その中でも、今年度は本校から鹿児島大学へ2名合格しています。その2名は右のQRコードの内容で受験し、見事合格を勝ち取りました。

鹿児島大学をはじめ、国公立大学には様々な受験形態があり、工業高校ならではの学びを活かして、受験することができます。そのためには、情報が大切です。各大学で学びたいことを調べ、多くの受験形態から自分に合致するものを選択できるように、早めに多くの情報を自分で探ししましょう。

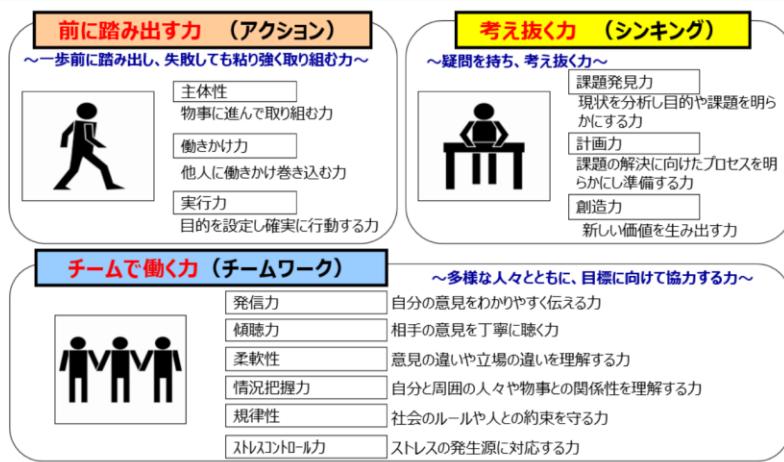
また鹿児島高専も合格しています。他、九州内各高専も時期はバラバラですが編入学試験で受験可能です。鹿児島高専は7月には試験が実施されます。早めの準備が大切ですね。



■3年生は社会人基礎力を身につける心構えを

今までの「社会人基礎力」とは

経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力（=3つの能力・12の能力要素）」として定義。



社会人として仕事をする上で大切な資質が、左記の社会人基礎力です。これから企業で働く3年生にとっては、仕事をしながら身につけなければならない資質です。世の中がAIによって目覚ましく変化する中で、受け身ではなく自ら世の中の変化に対応できる力を身につけることは大切です。そのキーワードとなる3つの力です。

一方1・2年生にとっても、面接力アップのためには、必要な力です。自分にどのような力があり、一方でどのような力が不足しているのかも確認しましょう。

さて、皆さん手帳を活用しているでしょうか？つい先日も、企業との約束事を忘れてお叱りを受けたり、提出しなければならない書類の提出を忘れていた生徒がいました。

手帳は手を動かしてメモをすることで、脳の活性化と記憶の定着が図られます。また、開いた際に必要な文章だけではなく、全体を見返すことで、大切なことを何度も目にするというメリットもあります。社会人基礎力を磨くには、手帳を活用し、目標や日々の記録、大切なアポの記録、感激したこと、大切な話をまとめたりと、日々ブラッシュアップをはかることができます。積極的に活用しましょう。